

序 文

二度と来たらぬ本学院百周年の記念すべき年を三年後に控え、百周年記念史編纂の準備として、その紀要を発行することとなり、編纂委員に挙げられた方々の熱心な努力により、ここに創刊号を上梓するに至ったことは喜びに堪えません。

本学院は英国聖公会宣教師協会宣教師ワレン師により、明治十七年、教会、学校、病院、貿易商社、税関等が立並ぶ欧米文化の紹介地、ガス燈が点る文明開化の地であった川口居留地内の聖三一教会のなかで、英語男子塾として呱呱の声をあげたのであるが、その後、充実発展することに三度、処を移し、幾多の苦難を越えながら、今日、大学、短大、高校等を擁する伝統ある私学として、その歩みを続けている。

この歴史のなかで、私どもが真に求めなければならぬことは、本学院の旗印であるキリスト教に基づく建学の精神であり、これが若人の教育、人格形成のために、各時代にいかに反映され、実践され、継承されているか、今後いかに進むべきかということでありましょう。このことは根源的な問題であるが故に、巾広く、絶えざる学びと問い直しを必要とするが、この点、本誌は多くの有益な示唆を与えてくれることでありましょう。

本誌は百年史の紀要でありますので、本誌に対し、読者諸賢のご高見を頂き、この刊行の完成にご協力を賜わり度く存する次第であります。

学院長 木川田 一郎